

第177回実践勉強会 実施レポート

共催
エーザイ株式会社
大田区薬剤師会

開催日 令和8年2月20日

参加者 66名

一般演題 「東邦大学医療センター大森病院の

フォーミュラリへの取り組みからの考察」

演者：東邦大学医療センター大森病院 薬剤部

薬剤部長 松本 高広 先生

特別講演 『不眠症治療の実際とこれから

～睡眠薬の適正使用も含めて～』

演者：東邦大学医学部精神神経医学講座

教授 根本 隆洋 先生

Q&A

① フォーミュラリを全国で統一すべきではないのか？

医師の処方権は侵害しない、各地域ごとの事情を考慮しながら決めるべき

② 不安感の強い不眠の場合、デヒピゴで不安は取れるのか、もしくはベンゾジアゼピン系の法がよいのか

オレキシン受容体拮抗薬は抗不安効果はないとされているが、経験的に眠れるようになればかなり不安は改善する場合が多い、この場合はベンゾジアゼピン系は使わなくてよい

③ 睡眠薬を頓服でもよいか聞かれたときの服薬指導については

医師の指示通りに服薬指導してほしい

- ④ ベルソムラで悪夢を見たため服薬を中止した方へ、デエビゴを勧めても悪夢を嫌がって服用しない方がいるが、どのように対応すべきか

オレキシン受容体拮抗薬は最初に悪夢の説明をする、悪夢が嫌な方には無理に勧めることはしないが、一度経験しても薬を変えると悪夢がなくなる場合や怖くない夢に変わる場合があることも説明する